

## 総合地質の創刊にあたって

前田仁一郎（特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター 理事長）

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センターはインターネット上で公開される電子ジャーナル“総合地質”(General Geology)を創刊いたしました。

北海道総合地質学研究センターは北海道内外の大学や研究機関・教育機関・地質関連企業などで地質学の研究・教育・実務に従事し、退職の時期を迎えたものたちと迎えつつあるものたちによって2016年3月1日に設立されました。電子ジャーナルの発刊は設立準備の段階から熱心に議論されてきた大きな目標の1つであり、今日このような形で成就するに至ったことは大変大きな喜びです。

総合地質がカバーする領域は層位学、古生物学、テクトニクス、岩石学、鉱物学、鉱床学、応用地質学、地学教育、地学史、およびそれらの関連領域であり、まさに幅広く多様な general geology のジャーナルを目指しています。

総合地質の発刊は、北海道総合地質学研究センター設立の2つの目的、すなわち 会員がそれぞれの創造的活動を意欲的に継続するための環境を用意すること、また会員それぞれが培ってきた地質学の専門性を活用して社会に貢献するための環境を用意すること、の中に位置づけられていますが、会員のみならず、広範な人たちの情報発信と議論の場となって 地質学・地球科学とそれらに関連する幅広い科学の発展ならびにその領域の研究者・教育者・実務者の育成に寄与することを目指しています。

総合地質はもちろん高度な研究成果の投稿を積極的に歓迎しますが、むしろ、世代交代にともなって失われかねない様々な資料・情報の引用可能なアーカイブとしての役割を果たすことに、その価値の1つがあるものと考えています。1枚の地質図や1本のルートマップ、露頭のスケッチや写真、岩石や化石の標本写真や薄片の写真などに説明を付したのも、また野外調査手記、ユニークな着想・アイデアなど、それだけでは通常の学術誌では公表が難しいものの積極的な投稿を期待しています。あるいは未解決・未検討のままに残された研究テーマや重要な試料を次の世代に提示し、継承者を募るという趣旨のものなども含め、本当に書き残したいものを書き残すためのメディアとして総合地質を育てていきたいと考えています。

総合地質が地質学・地球科学の発展に微力ながら貢献できることを願い、また北海道総合地質学研究センターと総合地質に対する皆さまのご理解とご支援・ご協力を心から期待し、創刊の辞といたします。

(2017年12月15日)